



【感染症だより】

～ロタウイルス腸炎について～

インフルエンザの流行もようやくピークを越え、B型が流行り出しました。それとともに、インフルエンザに圧されていた胃腸炎がまた増えてきました。胃腸炎といえば、ウイルス性がほとんどですが、中でも重くなりやすいのがロタウイルス、アデノウイルスなどです。先日ニュースで報道された、立川市で1000人以上の集団感染を引き起こしたノロウイルスは、感染力は強いですがほとんどの人が数日で回復します。

ロタウイルスは、冬季嘔吐下痢症の代表的なウイルスです。かつて、点滴治療が出来ない時代には嘔吐・下痢を頻回に起こした乳児が脱水症で数多く亡くなっていました。現代においては、脱水症に対しては比較的簡便に点滴治療を行うことが出来、死亡するケースはほとんど無くなりました。ロタウイルス胃腸炎で入院する小児の7割が0～1歳児ですので、乳幼児は特に胃腸炎の予防に努めましょう。手洗い、うがいは基本ですが、おむつ替え後は特にしっかりと手洗いをし、おむつはしっかりと処理・廃棄しましょう。乳幼児では、胃腸炎に伴って無熱性の痙攣をおこすことがあります。あるいは、頻度は低いですがロタウイルスで脳炎を起こすことがあります。痙攣や、意識状態の変化がある時は、救急車を要請しましょう。

また、ロタウイルスワクチンが数年前から任意接種ではありますが使用可能になっており、重症化予防が可能となっています。ロタウイルスワクチンは、生後6ヵ月までの乳児しか接種できませんので、ご希望の方は早めにお申し出ください。

表：2月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	インフルエンザ A	140
2	胃腸炎	51
3	溶連菌	18
4	インフルエンザ B	15
5	肺炎（マイコプラズマ含む）	5
5	水痘	5
5	おたふくかぜ	5
5	突発性発疹	5
9	手足口病	4

★病児保育室あんずからのお知らせ★

2017年4月から、保育室の枠が4から6名へ拡大します。新年度ご利用の際は、申込用紙のほかに、再度登録書が必要となります。福生市ホームページか、クリニックホームページよりダウンロード可能ですので印刷、記入の上ご利用下さい。印刷が出来なくても、当日来室時に記入できます。その際は時間に余裕を持ってお越しください。

文責： 清水マリ子

